

事業番号	09 03 06	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	不明	～	E-mail	nogi	@ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・農家戸数の減少（H22年117,316戸 ⇒ R2年89,786戸）や農業従事者の高齢化（長野県の65歳以上の比率：H12年57.4% ⇒ R2年73.5%）による農業生産構造の変化、ライフスタイルや食生活の多様化などにより、農産物の品種や技術に新たなニーズが生まれている。
- ・地球温暖化（長野市の年平均気温：1889年～2020年の間に1.27℃/100年の割合で上昇）により、農作物の生育、品質、収量などに影響が出ている。また、春先の気温上昇（長野市3月平均気温：1991～2000年平均3.9℃ ⇒ 2011年～2020年平均4.8℃）により生育が前進し、凍霜害のリスクが高まっている。
- ・社会のグローバル化やインターネット等の情報技術の発展により、国内外における権利違反等のリスクが高まるとともにマーケティング活動等の戦略的な展開も重要となっている。
- ・このため、社会背景に合致し、生産現場等に大きな変化をもたらす新たな品種・生産技術や、温室効果ガスの削減につながる技術を早期に開発していく必要がある。また、農業分野の知的財産の保護・活用を図る必要がある。

2 事業目的

- ・生産者が収益性や生産性の高い農業を展開できるよう、生産現場が抱えている課題を解決できる品種や栽培技術を新たに開発する。
- ・生産者がブランド力の高い農産物を安心して生産できるよう、農業分野における知的財産の保護・活用を図る。

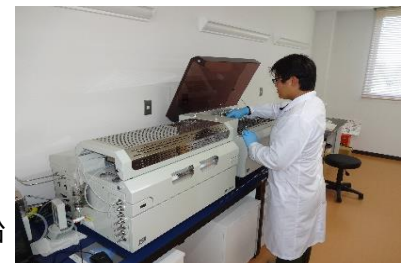
3 事業目的を達成するための取組

① 生産力を強化し収益性を高めるための品種・技術開発

- ・病害や気候変動に強く、貯蔵性に優れるといった生産者や消費者が要望する新品種を開発するため、DNA マーカー等の新たな手法などにより効率的な選抜や特性評価を実施
- ・先進技術により生産現場での省力化・生産性の向上を図るため、センシングによる栽培管理技術、AI やICTを活用した生産技術などスマート農業に繋がる技術開発を推進

② 地球環境に配慮し持続可能な農業を実現するための技術開発

- ・今後予想される地球温暖化においても産地を維持し、突発的な気象変化においても被害を軽減するため、高品質や収量を維持できる品種や、栽培管理技術の開発を推進
- ・農業生産における環境負荷を低減するため、農業由来の温室効果ガスの削減（ゼロカーボン）に向けた技術や省エネルギー技術などの開発を推進
- ・有機農業にも活用できる環境にやさしい農業の展開のため、総合的病害虫・雑草管理技術に沿った防除技術、堆肥や緑肥の活用による化学肥料低減技術などの開発を推進



分析機による土壌炭素貯留量の調査

③ 農業分野の知的財産の保護・活用

- ・知的財産の保護と活用による県農産物ブランド力の強化のため、海外展開も視野に入れた県オリジナル品種の国内外での品種登録や商標登録、利用許諾等を実施
- ・知的財産権への理解を深めるため、研修会等を通じた啓発とともに、国や関係機関と連携し、権利侵害への対応を適切に実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移		
①	新しく普及に移す農業技術数	課題	105	78	↘	80	↗	85	第4期長野県食と農業農村振興計画に基づき、現場で活用を図るために実用化した農業技術の課題数を指標として設定。近年の実績を踏まえR7年度は85課題を目標値とする。
②	地球環境に対応した新たな農業技術数	課題	5	6	↗	6	→	6	試験研究推進計画に基づき、地球環境に対応（適応やゼロカーボン）した農業技術の課題数を指標として設定。近年の実績を踏まえR7年度は6課題を目標値とする。
③	知的財産保護に関する研修会への参加人数	人	750	960	↗	500	↘	600	信州農産物知的財産活性化戦略に基づき、知的財産における啓発活動に関する研修会への出席人数を目標値として設定。研修会に加え刊行物による啓発手段にも力を入れていくため、R7年度は600人を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単 位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案		478,013		478,013	180,426	164.0
	要求		500,142		500,142	202,555	
R6年度	0	481,035	0	481,035	171,300	164.0	
R5年度	0	488,932	△ 65,328	423,604	164,437	408,247	164.0
要求からの 主な変更点	運営費について、事業の優先度等を考慮し、エアコン設置工事2件を見送り						

事業番号	09 03 06	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	農業関係試験研究推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	運営費	101,221 千円	94,753 千円	予算案 101,950 要求 124,079 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	試験場の運営・施設管理	直接	農業関係試験場における庁舎施設の維持管理のため、老朽化した設備等の修繕や改修工事などを実施 試験場施設の修繕や工事等の数：5 ●庁舎のエアコン設置工事：2か所 ●電気設備の修繕：2か所 ●燃料地下タンクの腐食防止工事：1か所		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
2	整備事業費	11,038 千円	11,038 千円	予算案 11,041 要求 11,041 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	試験研究に必要な機材類の更新・導入	直接	試験研究を効率的に進めるため、データ取得や栽培管理などに必要な機材等の更新や導入を実施 試験研究に関わる機材等の更新・導入数：10 ●水稻の原々種生産に使用する「コンバイン」の導入：1か所 ●家畜の運搬に使用する「ブルキャリア」の導入：1か所 ●果樹の食害を防止するための「防鳥網」の更新：1か所 など		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
3	研究推進費	10,210 千円	12,832 千円	予算案 13,038 要求 13,038 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	試験研究の効率的な推進	直接	試験研究の適切なテーマ設定及び人材の育成等を図るため、外部有識者との意見交換及び研究職員の短期研修への派遣を実施 外部有識者と試験研究推進に係る意見交換会を開催：1回 農林水産省が開催するキャリア別短期集合研修への職員派遣：3名以上		
2	知的財産活用推進事業	直接	試験場で開発した知的財産の活用や権利保護を行うため、啓発活動や海外での商標取得に必要な業務の委託などを実施 知的財産保護に関する研修会を開催：1回		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
4	素材開発研究費	146,016 千円	157,119 千円	予算案 160,191 要求 160,191 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生産現場のニーズに応えるための技術開発	直接	県内生産現場におけるニーズに応えつつ将来応用技術に繋げるため、基礎的な知見を集積した技術開発を実施 研究に取り組む課題数：73		

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	県単プロジェクト研究費	26,132 千円	25,848 千円	予算案 23,957 要求 23,957 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	生産現場の緊急要望へ対応するための技術開発	直接	県内生産現場における緊急的な要望に応えるため、概ね3年程度の短期間で集中的な技術開発を実施 研究に取り組む課題数：17	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
6	高度化等開発研究費	101,188 千円	98,170 千円	予算案 84,039 要求 84,039 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農水省の競争的資金等を活用し、国の研究機関や大学等と連携した技術開発	直接 委託	県内外の生産現場における広域的な重要課題を解決するため、国の研究機関や大学等と連携し、農水省の競争的資金等を活用した技術開発を実施 研究に取り組む課題数：33	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
7	新資材試験等協力研究費	71,927 千円	81,275 千円	予算案 83,797 要求 83,797 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	民間企業や団体等からの受託試験等	直接 委託	国や民間企業、団体等が開発した研究成果に関する現場への適応性を判断するため、農薬や生産資材等の受託試験を実施 研究に取り組む課題数：15	